



日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

みどりと清流

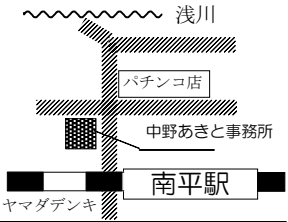
中野あきと事務所 第172号
〒191-0041 日野市南平6-25-1
南平ビル1階 2016年
TEL・FAX 042-599-3350 12月号
発行責任者 小林 進

ホームページ
「中野あきと」

しん 赤旗 ぶん

日刊紙1ヶ月 3497円
日曜版1ヶ月 823円
お申し込み 党南多摩事務所
TEL 042-374-4384
または中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



都政に挑戦～多摩格差問題を斬る(その2)

豊田駅南口の早朝宣伝
中野あきと市議(都議予定候補)



前号で、多摩格差問題とは、同じ東京都民であっても23区と多摩地域の市町村とでは大きな格差があること、中でも財政力の格差は住民サービスにおける様々な格差を生んでいる重大な問題であると記しました。

財政力格差とは

では財政力の格差とはどれほどのものなのか、これも9月議会の私の一般質問に対して部長が説明してくれています。「住民1人あたりの税収を比較すると、都内市町村が約17万円、区部は約34万円。つまり住民一人あたりの行政サービスに投入できる税収

が、市町村は区部の半分程度ということになりました」と。

市長にいたっては「区部と市部と財政力の格差は本当に全然違います。」「同じ東京都と言えるのか」と怒りを込めて告発しました。

子どもの医療費助成、耐震工事助成、学校図書館司書の配置・・・財政力の格差とは、すぐれて住民の暮らしを支える施策に直結する重大な問題なのです。

この格差を是正したり調整したりする責任は東京都にあります。そして財政力の格差を調整する財政補完制度として、多摩地域の市町村を対象にした『市町村総合交付金』が出されているのですが、市町村に支給される総額約490億円、日野市には約15億円とあまりに少ないのです。

財政力の格差を是正する方策として、この市町村総合交付金の抜本的増額、そして個別施策に対する都補助の拡充が切実に求められています。(次号へつづく)

中野あきと



早期に日野駅の改良を!

日本共産党日野市議団は11月29日、JR中央線日野駅の現地調査を行いました。視覚障害のある方に同行いただいております。

日野駅はホームの幅が狭く、盛り土方式で作られているため、ホームに立つと街を見下ろすようになることや、水はけのためにホーム面にわずかな傾斜がついていることで、利用者から「怖い」との声が寄せられ、早期の改良が求められていました。

日本共産党市議団はホームドアの設置などの日野駅の改良を求めて、12月議会一般質問を行います。



日野駅で現地調査を行う
中野あきと市議(都議予定候補)

短信

共産党の日野事務所は東平山3丁目にある。日野の党はここを拠点に活動、革新市政を支え村松みえ子さんを都政に送り出してきた。築37年。目下改築中。仮事務所への引っ越しで備品を除いたら羽目は破れ土台は腐食。よくぞ持ちこたえたものだ▼故郷で暮らすことを決意された方が、まわりの物さえあればと処分した不動産の代金を改築や活動資金にと寄付された。土地は永年お世話になった地主さんが提供して下さった。党の躍進を願うご厚意に応え、日野の党は募金を募り新事務所建設に奔走している▼苦闘の37年間でもある。80年代は社共共闘の分断ー共産党を除く国会運営とTV討論からの締め出し。90年代は自民か非自民かの大合唱。二千年に入っても二大政党による政権選択と、蚊帳の外で歯を食いしばりがんばった。ひるがえって今は、野党十市民の一翼を担い自民党政対峙している▼共闘で挑む新しい時代。がんばれば政治が変わる。八方塞がりのアベ暴走政治を倒し9条が光る平和な国へ。8時間働けば普通に暮らせる社会を。来年夏の都議選はその第一歩。二人区の壁をぶち破りご期待に応えねば。新事務所の完成は来年一月である。(K)



会場の声援に応える

(左から) 山添拓参議院議員、中野あきと都議予定候補、村松みえ子元都議。なお、曾根はじめ都議も参加し、舛添疑惑の核心や豊洲新市場問題を報告後、次の会場に向かいました。

スーパーヤオコーの新築工事

南平にあったヤマダ電機が閉店になり「スーパーヤオコー」が新たに営業開始になることは本紙10月号でお知らせしましたが、店舗の概要や工事予定が発表されました。

概要

- 建物 地上2階建て
- 高さ 9.5m、建築面積 3272㎡
延床面積 2975㎡
- 駐車場：1階屋外駐車場42台、2階屋上駐車場65台 合計107台、
バイク置き場：5台、駐輪場：133台
- 既存建物の取り壊し：平成29年2月中旬着手
- 新築工事期間：平成29年4月初旬～11月末
スーパーヤオコーは埼玉を中心に東京都内でも8カ所(八王子や立川にも)の店舗を構えています。

日本野鳥の会 「鳥と緑の日野センター」が事業終了

南平2丁目、みなみが丘住宅地の上にある日本野鳥の会が事業を行っていた「鳥と緑の日野センター」の事業を日野市との話し合いもつき終了することになり、関係者への連絡がありました。

約2000坪の日野市からの無償貸与の土地は、来年度中に更地にして返還されます。同センターは1997年3月以降約20年間にわたり活動してきました。

《2017年 1月の無料法律相談》
市役所6階 共産党控室 午後1時～3時
1月 12日(木)
※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

ご感想・ご意見を
お寄せ下さい。

盛況！地域主催の演説会

七生公会堂に220人

国会議員や都議会議員も招いて中野あきと演説会を地域で開こう…。11月13日の夜、南平、平山、西平山、豊田、平山公社住宅の日本共産党支部主催の演説会が七生公会堂で行われました。

裏方も司会も支部や後援会が行う初めての試みです。「どのくらい集まるのか」「大きな会場で本当に成功するのか」の不安をよそに、日曜日の夜という条件にもかかわらず220人の方々の参加で成功しました。

また、主催者の訴えに応じて10万3千186円の会場募金が寄せられました。参加された皆さん、本当に有難うございました。

浅川一番橋下流の工事

一番橋のすぐ下流・右岸(南平5丁目)で「浅川一番橋下流低水護岸工事」が行われています。これは対岸(左岸)の東豊田側の堤防補強のための工事だそうです。工期は3月24日までの予定。

詳細は国土交通省・京浜河川事務所 多摩出張所へお問い合わせください。電話 042-377-7403

※低水護岸工事とは

堤防などが急流によって洗われて削られないように、河岸の内部補強として、低水路へ新たにコンクリートブロックによる護岸を施し、その前面に根固ブロックを設置し強化する工事です。(京浜河川事務所HPより)

一番橋下流工事



都心では観測史上初の雪。高幡不動の屋根にもうつつすらと積雪 (11月25日朝)



生活相談のご案内

市民の皆さんの生活における悩みや不安などに対し、生活相談をおこなっています。

秘密厳守します。お気軽にご相談ください。

(お問合せ) 中野あきと事務所 (599)3350へ